

令和2年度 調布市立滝坂小学校 学校経営計画（学校長 鈴木 祐介）

| 学校の教育目標  |  |
|--|--|
| ◎よく考え 進んで学習      ○強いからだ やりぬく心      ○人に親切 仲よく協力      （◎＝今年度の重点）   |  |
| 目指す学校像（ビジョン）   |  |
| 目指す児童の姿<br>① 「授業がわかる、授業が楽しい」と目を輝かせる児童<br>② 「友達といるのが楽しい、クラスが楽しい」と生き生きする児童<br>③ 「健康で安全」に活動する児童   | 目指す教師の姿（東京都が推進する教員の四つの力）<br>① 分かる授業を展開し、子供の学力を伸ばす教師<br>② 生活指導力・進路指導力があり、子供の人間力を育む教師<br>③ 学校運営力、組織貢献力があり、目標に向け協働する教師<br>④ 外部との連携、折衝力があり、地域・保護者と協力する教師   |
| ビジョンの設定理由（本校の現状と課題）  | ○明るく素直な児童、学校教育に協力的な保護者、児童を温かく見守ってくださる地域、組織を通して教育活動に専念する教師など、本校は人的環境に恵まれている。<br>○学習指導要領に則し各領域、教科において、児童の「知識・技能」の確実な習得を目指している。併せて「思考力・判断力・表現力」を大きく育むことを目標とする。<br>○全学年において、児童は落ち着いて学習に取り組んでいる。特に国語や算数など、将来の進路選択で必要となる教科の基礎基本を、児童全員に確実に身に付けさせる必要がある。 |
| 中期的な経営目標   |  |
| <b>1</b> 豊かな心の育成<br>① 人権尊重の精神を養い、他者との望ましい関わり方を習得させる。<br>② 落ち着いた学校生活の中で仲間を思いやる心を育てる。<br>③ いじめ問題の未然防止、早期発見・早期対応する。<br><b>2</b> 確かな学力の育成<br>① 休校対応にに応じて学習カリキュラムを再構築する。<br>② 基礎基本を定着させ、学習習慣を身に付けさせる。<br>③ 一人一人に応じた指導を心掛け、知識・技能の習得に加え、思考力・判断力・表現力の育成を図る授業を展開する。<br><b>3</b> 健康でたくましい心と体の育成<br>① 健康や体力向上を図る取り組みを通じて、丈夫でたくましい心と体をつくる。<br>② コロナウイルス感染防止対応に全校が協力して取り組む。 |  |

| 調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>  |   |   |
|--|---|---|
| 1 豊かな心(徳)  | 2 確かな学力(知)  | 3 健やかな体(体)  |
| (1) 取組目標（具体的方策）<br>① 心の教育活動<br>ア) 「月生活目標」を活用した、具体的指導提示<br>イ) 年間 25 の価値項目で臨む道徳科授業<br>ウ) 認め、褒める指導で育成する自己肯定感                              | (1) 取組目標（具体的方策）<br>① 休校対応における学習指導の強化<br>ア) 休校分の時数を夏季休業短縮・土曜授業の実施と行事精選による授業時数確保<br>イ) 国語・算数授業時数の例年比 10 割超確保<br>ウ) 未履修単元の計画的な指導と授業の実施 | (1) 取組目標（具体的方策）<br>① 休校対応における安全・体育指導<br>ア) 密を避け、接触を伴わない競技指導<br>イ) 個人で取り組める体力づくりの推奨<br>ウ) 休み時間の外遊び励行指導                                 |
| ② 教育環境整備<br>ア) 校内壁面掲示の活用<br>イ) 校舎内外清掃と校庭の草花の手入れの充実<br>ウ) 異年齢学習集団活動の活性化や人的環境を整え育成する児童の自己肯定感   | ② 知・技能習得 思考・判断・表現力の育成<br>ア) 授業展開に工夫を凝らし、ICT 活用等で児童の学習への興味関心高める授業づくり<br>イ) 授業規律重視、「よく考え」「真剣に学ぶ態度」の育成<br>ウ) 毎日継続する宿題等による、家庭学習習慣化      | ② 健康・運動志向の醸成<br>ア) 「早寝・早起き・朝ごはん」を身に付けさせる望ましい生活習慣指導<br>イ) アスリート招聘による、児童への講話、実技指導実施でオリンピック・パラリンピック大会を迎える児童心身の醸成<br>ウ) 運動の日常化で育む健康な心身の獲得 |
| (2) 成果目標（数値目標）<br>① 挨拶・感謝の言葉を言える児童 80%以上<br>② 生活・いじめアンケート課題出現率皆無   | (2) 成果目標（数値目標）<br>① 学校評価アンケートで「我が子は授業が分かる」で 80%以上が肯定する評価<br>② 毎日宿題出す→家庭学習取組率 90%以上  | (2) 成果目標（数値目標）<br>① 運動に親しんでいる児童が 80%を超える。<br>② 80%超の児童が望ましい生活習慣を習得。   |
| 学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>  |   |   |
| 4 保護者・地域との連携   | 5 環境教育の充実   | 6 読書活動の推進   |
| (1) 休校対応の学校情報と活動方針を発信<br>① 情報公開における学校ホームページの活用<br>② 学校行事・地域行事の精選と実施<br>(2) 成果目標（数値目標）<br>① 週に 1 度以上のホームページ更新を実施<br>② 無理ない行事の計画と実施実現の可否 | (1) 取組目標（具体的方策）<br>① 外部講師を招聘した授業の実施<br>② 環境学習の学年ごとの成果作成<br>(2) 成果目標（数値目標）<br>① 年度初めに計画した授業時数の実施<br>② 滝坂タイムでの児童による学びの発表実施            | (1) 取組目標（具体的方策）<br>① 各学年での読書冊数目標の設定<br>② 図書室運営の活発化<br>(2) 成果目標（数値目標）<br>① 学校アンケート読書親しむ児童 80%以上<br>② 読書循環の充実                           |

| 人材育成・組織運営   |  |  |
|---|--|--|
| ア) 経営会議の定期的な開催      イ) 各委員会の定期開催による校内課題の共有と対応の確認      ウ) 担当分掌の計画的推進 |  |  |